

甲子園で再会しよう」

さよならパーティーで誓う

離島交流中学野球

「国土交通大臣杯第16回全国離島交流中学生野球大会（通称・離島甲子園）」の「さよならパーティー」が21日、JTAドーム宮古島で開かれた。試合を終えた選手らは、日焼けした晴れやかな笑顔で「高校進学後は、離島から甲子園を目指し再会しよう」と誓い合った。

大会実行委員会副委員長の宮城克典教育長は「皆さんの熱き闘いと保護者、地域の応援で最高の大会となった。スポーツの垣根を越えて交流することで、一生の友情を築いてほしい」とあいさつした。



出場チームが交流を深めたさよならパーティー＝21日、JTAドーム宮古島

い」とあいさつした。

来年の大会開催地の隠岐の島町（島根県）の大庭孝久副町長は「宮古島大会は心に残る大会となった。宮古島に負けないように盛り上げていきたい」と述べ、嘉数登市長から大会旗を受け取った。

佐渡市選抜（新潟県）の土屋志道さんは「宮古島は海がきれいで、全国離島の選手と触れ合うことができ、楽しい大会だった」と話した。

大会顧問の村田英光氏が最優秀選手らを表彰した。表彰者は次の通り。

【最優秀選手】池間光喜（アララガマボーイズ宮古島）
 【優秀賞】棚原日埜（久米島ゴールデンキングス）
 ▽四角太河（甕島選抜）
 ▽嘉納新（徳之島選抜）
 ▽本村蓮虎（アララガマボーイズ宮古島）

ンド沸く

新聞特集
 ば（伝言板）
 イから笑顔で帰島
 欄